



田尻町議会だより

たじりの風

8642人

Vol.126

令和3(2021)年
2月1日発行

■発行／大阪府田尻町議会 ■編集／議会広報委員会 大阪府泉南郡田尻町嘉祥寺375番地1 電話 072-466-5000



ご成人おめでとうございます

今年は221名の方が新成人になりました

主な内容

- ★ 一般質問（12月議会）…………… 2 頁
- ★ 審議結果（12月議会）…………… 5 頁
- ★ 委員会報告（12月議会）…………… 6 頁
- ★ チョット教えて…………… 7 頁
- ★ 3月議会の日程…………… 7 頁
- ★ 災害対策特別委員会…………… 8 頁

12月議会 一般質問

- 坂口 実 議員 1. 将来へ持続可能な町の運営は
- 原 明美 議員 1. インフルエンザワクチン無料接種を来年度以降も続ける等の予定は
2. 高潮対策として、公共施設を南海本線より上に持っていく予定は
- 金田 裕治 議員 1. 定額給付金の未申請者への対策
2. 待機児童対策等の子育て支援施策について
- 東 小夜子 議員 1. 私立高校授業料無償化について
2. 横断歩道の設置について
3. 保育所の保育方針について
- 吉開 育子 議員 1. 新型コロナ感染拡大に伴う田尻町独自支援策の継続を
2. 田尻橋から水門までの田尻川護岸に安全フェンスの設置を
- 小川 雄司 議員 1. 20人程度の少人数学級の実施を
2. 田尻町では20人程度の少人数学級の実現には30人学級がベスト
3. 10年後の小学校の建て替えは30人学級で計画を
4. 国保基金を加入者に還元を
5. 町全額補助で介護施設職員の定期的なPCR検査の実施を

※一般質問の様子は町のホームページ上で閲覧できます。(You Tube による動画配信です)
・閲覧方法・田尻町のホームページ
www.town.tajiri.osaka.jp/ ⇒ 町議会 ⇒ インターネット配信

※この一般質問の内容は、各議員の責任のもと記載しております。



坂口 実 議員

問 将来へ持続可能な町の運営は

答 基本的に町民憲章に則って進めていく

問 子や孫の時代へ受け継ぐ持続可能な田尻町全体の運営展望を町長、教育長、各部署トップの主観的な認識を問う。

答 住民部長 本町税収の8割を関空関連で占めている。平成28年の関空会社から関西エアポートへの運営権の売却、2060年まで現在の枠組みは変わらない。

答 事業部長 根幹的なインフラ施設については、基本計画に基づき着実に取り組む。

答 民生部長 福祉施策について、地域住民が主体となって地域課題を我が事として捉え高齢、障害、困窮など複合する課題を丸ごと受け止める地域共生社会の実現が必要とされている。地域での孤立化を防ぎ、

誰一人取り残さないという理念で取り組みたい。

答 総務部長 職員定員の適正管理などの行財政改革を実施した。今後は公共施設等の老朽化対策が課題となり、今後20年で120億円が必要と試算され、中長期にわたり取り組む田尻町個別施設計画を本年度策定し、計画的な施設管理運営と財政運営をおこなう。

答 教育次長 「豊かな心を持ち、自ら学び考え判断する実践力を育む教育」と先般開催の総合教育会議で教育理念を定め取り組む。

答 教育長 学校の特色やそこで子どもを学ばせたい、通いたいという魅力ある学校づくりはもう基本である。魅力あるようないわゆる教育学校を創造していかなければならない。

答 町長 「みんなの幸せと繁栄を願い、潤いと安らぎのある町づくりを目指し、こぞって努力することを確かめあうために町民憲章を定めます。」とあり、一、綺麗な海と緑のまち、一、力を合わせ平和なまち、一、楽しい家庭と豊かなまち、一、思いやりの心と健康なまち、一、文化を高め明るいまちをつくります。この精神は今でも生きている。基本的に町民憲章に則ってしっかり進めていく。



問 インフルエンザの無料接種の継続を

答 今年度限りの制度である

問 今年度、18歳未満の子ども、65歳以上の方にインフルエンザワクチンの無料接種を任意ではあるが実施した。来年度以降も継続を要望する。また、PCR検査の一部助成も要望する。

答 **健康課長** 今回のインフルエンザの無料接種事業は、新型コロナウイルスとインフルエンザウイルスの同時流行を抑制するための今回限りの制度である。PCR検査の一部助成は今後国・府の動きをうかがいつつ、保健所と連携しながら対応していく。

問 公共施設を南海本線より山側に

答 予定はない

問 大阪府より示された高潮浸水区域図によれば、南海本線より海側のほとんどが浸水区域となっている。田尻町が指定している避難所も、学校施設や公民館、ポンプ場も浸水区域となっている。また、浸水時間も公共施設で12時間未満、その他一部では1週間以上水が引かない場所もある。浸水区域になっていない山側に公共施設が必要であると思うが。

答 **危機管理課長** 高潮浸水想定のみによって公共施設を南海本線より山側にもっていく予定はない。浸水対策については、排水作業応援やポンプ施設の早期復旧に努めていく。今後は受援計画を策定し、様々な支援を受けながら復旧、復興ができるよう検討していく。



問 待機児童が発生しないような対策は

答 保育士の確保や柔軟な部屋の配置で対応していく

問 現在、保育所の申込みが急増しているが、待機児童が発生しないような対策は取っているのか。

答 **こども課長** 保育士の確保や柔軟な部屋の配置、空調改修等の保育環境の整備により対応していく。

問 現在の待機児童数は。

答 **こども課長** 国基準では0歳児で1名。私的待機は0歳児8名、1歳児1名である。

問 保育士を確保すれば待機児童は発生しないのか。

答 **こども課長** 低年齢児用のトイレや給食の食数問題は残る。

問 施設が足りないのであれば、施設を作る計画はないのか。

答 **こども課長** ここ数年は子どもの数が増えているが、いずれ減っていくと思われるので規模を拡大することは考えていない。





問 田尻町独自で私立高校授業料無償化を

答 前向きに検討していく

問 田尻町独自で世帯年収910万円までを無償化にするべきでは。

答 町長 教育の充実を柱にしている。しっかり吟味していかなければならない課題があるが前向きに検討していく。

2020年度からの国の就学支援金と大阪府の授業料補助（年額）
【授業料が年間65万円の学校の場合】

年収のめやす	590万円未満	800万円未満			910万円未満		
	—	3人以上	2人	1人	3人以上	2人	1人
世帯で扶養する子ども的人数	—	3人以上	2人	1人	3人以上	2人	1人
保護者の負担	0円	0円	10万円	20万円	15万円	35万円	53.12万円
支援額の合計	65万円	65万円	55万円	45万円	50万円	30万円	11.88万円

※ 黄色の部分について、町独自で無償化を

問 横断歩道の設置を

答 安全確保のため対策を協議していく

問 小中一貫教育施設建設で駐車場が交番所横にかわり人の流れが変わる。建設場所横の歩道から交番所に行く道路に横断歩道を設置するべきでは。

答 土木下水道課長 泉佐野警察との協議では、十分な滞留場所がないことから横断歩道設置には前向きな回答が得られなかった。しかし子どもたちの登下校時の主要な通学ルートであるので、田尻町通学ルート安全推進会議で安全確保のためより良い対策について協議を行う。



問 コロナ第3波に伴い支援策の継続を

答 柔軟に対応していきたい

問 第3波のコロナ感染拡大が懸念され、大阪府内においても感染者が増えている。共産党議員団と田尻町支部は、第22回「私の願い聞いてよ」町民アンケートを町内全戸に配布し行った。コロナ禍のなか、年末から来年にかけての暮らし向きを尋ねたところ、「悪くなりそう」とご回答された方が54%と半数を超えている。「収入が過去最低でずっと生活苦です」「支援策をもう一度実施してほしい」など切実な声が多数届いている。現在実施中のコロナ感染拡大に伴う田尻町独自の支援策は来年3月末ですべて終了である。継続を求める。

答 民生部長 実施してきた生活支援策の継続については、これまでの状況や背景が進展しており、これ

まで実施した施策にとらわれず、今後の状況や推移、国や府の動向を注視しながら、単なる一律的な経済給付ではなく、町として担うべき生活に密着した施策のなかで、実施すべきもの、必要なものについては、柔軟に対応していきたい。

問 田尻川護岸に安全フェンスの設置を

答 管理者の大阪府と協議し判断する

問 田尻橋から水門までの田尻川護岸フェンスは、和歌山側には設置されているが、大阪側には設置されていない。町民アンケートのご回答で「公民館の前の川の向こう側にも柵をお願いします。」とのご要望をいただいた。安全フェンスの設置を求める。

答 土木下水道課長 歩行者の通行安全確保のための転落防止柵の設置について、地区会等のご意見もお聞きして、田尻川護岸管理者である大阪府と協議を行って判断する。



問 約1億円ある国保基金は加入者に還元を

答 自然災害発生時などに加入者の負担軽減に使う

問 令和6年度から田尻町も国保料の府内統一料金になることが決定されており、今の保険料よりも値上げが確実である。国保加入者から集めた保険料の基金は約1億円(1人あたり6万3千円)ある。府国保運営方針では、令和6年度までの激変緩和措置期間は、基金を使った保険料の減額を認めている。令和3年度から5年度まで3ヶ年度において、保険料を現在実施中の月1人600円の減額と同等の減額を実施されたい。

答 **住民課長** 自然災害発生時などで医療費がかさむときに加入者の負担軽減に使えるよう基金を管

理する。

問 10年後の小学校の建て替えは30人学級で計画を

答 少人数学級編成を目指して建設計画を進める

問 現時点の小・中学校の児童・生徒数で30人学級を実施すれば、小学校は4クラス増、中学校は2クラス増である。文科省は30人学級実施には教員を8万人から9万人増やす必要があると言っている。田尻町は来年度から小・中学校とも35人学級を町独自で実施するが、10年後に予定している小学校の建て替え計画は30人学級が実施できるように学校施設建設計画をすすめていただきたい。

答 **教育次長兼指導課長** 文科省としては少人数学級を目指して進んでいることから、そのことを踏まえて、本町も学校施設の建設を進めるべきであると考えている。

令和2年 第4回定例会 審議結果

意見が分かれた議案名	審議結果	仁部順行	金田裕治	吉開育子	小川雄司	東小夜子	中川達夫	大門久恭	原明美	射場隆裕	坂口実
田尻町放課後児童クラブ指定管理者指定の件	原案可決	○	○	×	×	○	○	議	○	○	○
令和2年度田尻町一般会計補正予算(第7号)の件	原案可決	○	○	×	×	○	○	議	○	○	○
工事請負契約締結の件【仮) 田尻町教育センター等新築工事】	原案可決	○	○	○	○	○	○	議	×	○	×

○…賛成 ×…反対 議…議長のため賛否なし



12月議会 委員会報告

総務建設常任委員会

委員長 仁 部 順 行

審査結果並びに経過報告 (12月8日開催)

◎田尻町消防団条例一部改正の件

(条例の一部改正) 【全会一致で可決】

問 (役場) 分団の人数は何人ぐらいか、その選考基準は。

答 定数内で5名程度、年齢50歳以下を考えている。

問 24時間対応できる本来の消防団員を増やす手立てについて、もっと知恵をしぼるべきでは。

答 成人式でのチラシ配布など勧誘や啓発に努めている。今後も引き続き周知活動を続けていく。

問 災害時の出動は、職員としての仕事があるので、平日の火事の時だけなのか。また、町内事業所への(協力の)働きかけは。

答 災害時は本業優先なので、平日の火事だけである。町内事業所にも声掛けしており、消防団協力事業所として拡げていくように考えている。

◎令和2年度田尻町一般会計補正予算(第7号)の件

(1,340万7千円の増額) 【賛成3、反対1で可決】

問 吉見ノ里駅前駐輪場整備・運営事業について、プロポーザルでは、どういう事業者を選定するのか。

答 調査・設計・建設・運営管理を一括して行ってもらった事業者を選定する。駐輪場事業の実績、運営管理、安全対策、収支計画や、放置自転車への対応、企業独自の提案などを、総合評価して決定する。

問 都市環境創造基金を活用して、町が駐輪場を建設し、利用料無料で運営するのはどうか。

答 駐輪場は特定の人が利用するものなので、受益者負担とする考え方が原則である。

反対討論 基本的に不特定多数の方が利用する駅なので、サービスが低減してはならない。最初から、有料化により利用が2割程度減ると考えて整備することで、利用者にはサービスが悪くなった、駐輪しにくくなったと捉えられる。都市環境創造基金を活用して、町が整備して、引き続き無料で利用できるようにすればよい。

賛成討論 受益者負担というのは、これからは大原則だと思う。利用者が利用料を負担するのは、当たり前だと認識している。利便性の向上が図られるプロポーザルを進めていただきたい。その中に、レンタルバイク事業を行う業者が入ればという希望も込めて賛成とする。

文教厚生常任委員会

委員長 中 川 達 夫

審査結果並びに経過報告 (12月9日開催)

◎田尻町放課後児童クラブ指定管理者指定の件

【賛成3、反対1で可決】

問 今回の業者に決めた一番の要因は。

答 一番大きかったのは、学校や放課後教室との連携がしっかりと提案をされていたことである。

問 保幼小中一貫教育を進めていく中で、学童保育を民間委託するのはどうか。

答 小学校との連携を、しっかりとやっていきたい。

反対討論 業者が続けて同じところであればいいが、そうならないことが問題である。指導員の雇用体制は不安定な形となり、指定管理料や人件費も上がっている。経費削減という意味では、民間委託しても同じではないか。業者に任せず公の責任として、町が直営でやっていくべきでは。

賛成討論 今回の業者は経験豊富で、新しい感覚で運営できる。何もかも直営がベストであるとは思わない。民間には様々な考え方や新しいノウハウがあり、町にない部分を入れることはよい。

◎令和2年度田尻町一般会計補正予算(第7号)の件

(1,340万7千円の増額) 【全会一致で可決】

問 子育て支援センターでの新型コロナ対策として、どういうものを買うのか。

答 換気のための壁掛型扇風機や、消毒液などを買う予定である。

問 小・中学校、ふれ愛センター、役場など公共施設に、モニターの付いている非接触式体温計を置く考えは。

答 購入に向けて、現在事務を進めているところである。

問 エンゼルの空調機器改修工事だが、今回すべての空調機器を交換するのか。

答 今回は、こどもの教室12部屋の機器改修で、それ以外については、次年度以降、計画的に進めていく。

◎令和2年度田尻町介護保険特別会計補正予算(第2号)の件

(33万7千円の増額) 【全会一致で可決】

問 新型コロナによる減収で、介護保険料を払えないとの相談を受けたことはないか。

答 新型コロナの影響では、減免について5名の申請があった。



田尻町議会の千ヨツト教えて



❗ プロポーザル ってナニ??



プロポーザルとは、日本語にすると「企画、提案」を意味する言葉です。

役所が公共の建物などの設計、工事を発注するときは、入札を行い、最も安く請け負ってくれる事業者と契約を結ぶこと（一般競争入札）が原則ですが、内容によっては必ずしも金額の安さだけが最も重要になるとは限りません。中には事業者の特殊な技術や企画力などが必要な場合もあります。

このような場合、「発注する側の意図や考え方に対応する能力があるか」という基準で採点を行って、最も点数の高かった事業者に決定する入札方法があります。これをプロポーザル方式といいます。



田尻町では現在、吉見ノ里駅前駐輪場の整備、運営に向けて、公募型プロポーザルによる事業者の選定を進めています。新たな駐輪場は、令和4年春に運営がスタートする予定です。

令和3年 3月議会の日程（傍聴可能なもの）

4日(木) 本会議（開会日）

5日(金) 本会議（第2日）

※4日(木) に審議が終了しなかった場合のみ開催

8日(月) 総務建設常任委員会

9日(火) 文教厚生常任委員会

11日(木) 予算特別委員会

16日(火) 予算特別委員会（第2日）

※11日(木) に審議が終了しなかった場合のみ開催

17日(水) 委員会予備日

※8日(月) ～16日(火) に審議が終了しなかった場合のみ開催

26日(金) 本会議（閉会日）



上記日程は、現時点での予定です。いずれも午前10時から本庁舎3階議場にて開催します。傍聴にお越しの際は、マスクを着用いただき、席は隣との間隔を空けておかけください。

災害対策特別委員会報告

災害対策特別委員会委員長 吉開 育子



12月の本会議終了後、災害対策特別委員会を開催しました。今回は、災害時に避難所等に設置する段ボールベッドについて、危機管理課より説明を受け、その後組み立て実演を行いました。

段ボールベッドは折りたたんだ状態では非常にコンパクトで軽く、女性でも比較的楽に持ち運べますが、実際に広げて組み立ててみると、とても丈夫で、大人が寝てもしっかり支えることができる簡易ベッドとなります。

現在町では、この段ボールベッドと、ベッドの上に置いて使用するエアーマットを各100個備蓄しています。





田尻町議会の千ヨツト教えて



❗ プロポーザル ってナニ??



プロポーザルとは、日本語にすると「企画、提案」を意味する言葉です。

役所が公共の建物などの設計、工事を発注するときは、入札を行い、最も安く請け負ってくれる事業者と契約を結ぶこと（一般競争入札）が原則ですが、内容によっては必ずしも金額の安さだけが最も重要になるとは限りません。中には事業者の特殊な技術や企画力などが必要な場合もあります。

このような場合、「発注する側の意図や考え方に対応する能力があるか」という基準で採点を行って、最も点数の高かった事業者に決定する入札方法があります。これをプロポーザル方式といいます。



田尻町では現在、吉見ノ里駅前駐輪場を整備、運営に向けて、公募型プロポーザルによる事業者の選定を進めています。新たな駐輪場は、令和4年春に運営がスタートする予定です。

令和3年 3月議会の日程（傍聴可能なもの）

4日(木) 本会議（開会日）

5日(金) 本会議（第2日）

※4日(木) に審議が終了しなかった場合のみ開催

8日(月) 総務建設常任委員会

9日(火) 文教厚生常任委員会

11日(木) 予算特別委員会

16日(火) 予算特別委員会（第2日）

※11日(木) に審議が終了しなかった場合のみ開催

17日(水) 委員会予備日

※8日(月) ～16日(火) に審議が終了しなかった場合のみ開催

26日(金) 本会議（閉会日）



上記日程は、現時点での予定です。いずれも午前10時から本庁舎3階議場にて開催します。傍聴にお越しの際は、マスクを着用いただき、席は隣との間隔を空けておかけください。

災害対策特別委員会報告

12月の本会議終了後、災害対策特別委員会を開催しました。今回は、災害時に避難所等に設置する段ボールベッドについて、危機管理課より説明を受け、その後組み立て実演を行いました。

段ボールベッドは折りたたんだ状態では非常にコンパクトで軽く、女性でも比較的楽に持ち運べますが、実際に広げて組み立ててみると、とても丈夫で、大人が寝てもしっかり支えることができる簡易ベッドとなります。

現在町では、この段ボールベッドと、ベッドの上に置いて使用するエアーマットを各100個備蓄しています。

災害対策特別委員会委員長 吉開 育子

